



令和8年度 9月号

令和8年8月31日

横浜市立新石川小学校

学校だより

【学校教育目標】

豊かなかかわりを通して
ともに高め合い 主体的に取り組む子

学校 HP へはこちらの QR コードから→

TEL 911-6281 FAX 912-4892



「だいじょうぶ」

～時薬（ときぐすり）・人薬（ひとぐすり）～

校長 岡崎 恵子

40日間の長い夏休みが終わりました。今年は、酷暑・例年の進路と逆行する台風・線状降水帯発生による豪雨、そして地震などがあり、不安の多い夏でした。熊本・千葉で被災された方々、関係の方々に心よりお見舞い申し上げます。

前期後半は8月27日から10月9日までです。前期前半に「やってみよう!」「友達とやってみよう!」に取り組んできた子どもたち。これからは運動会に向けて「異学年や全校でやってみよう!」が増えます。一つひとつの体験や様々な人との関わりにより、心も体も成長します。保護者の皆様、地域の皆様、引き続き学校の教育活動へのご理解とご協力をよろしくお願いいたします。

初日、久しぶりに会った子どもたちの背が伸びていること、顔つきが凛々しくなっていることに驚き、夏休みは子どもにとって大きな成長の機会なのだと改めて感じました。どのクラスでも久しぶりに会う友達と夏休みの出来事を伝え合っていて楽しそうでした。よく聴いていると「早寝早起きできるかなあ。」「新しい勉強は難しくなるのかなあ。」「前の学校のように友達ができるかなあ。」と、これからの学校生活に緊張や不安を抱いている子もいました。これは悪いことではありません。先を見通すことや今の自分を見つめることの力が備わってきている成長の表れだと思います。

先のことを考えてあれこれと心配するのではなく、「だいじょうぶ」と自分自身の心を緩め、時を過ごしているうちに何とかなるという考えを「時薬（ときぐすり）」というのだそうです。さらに、人の優しさ・思いやりにふれたり、“支え支えられる周りの人との関わり”が安心をもたらしたりすることを「人薬（ひとぐすり）」というそうです。わたしは尊敬する先輩からこの言葉を教えていただきました。

学校では、多様な子ども一人ひとりが安心して豊かに学校生活を送れるように、これからも子どもの声を聴き「自己選択・自己決定」の場を大切にしたり、体制としてたんぼぼルーム・国際教室の充実などを進めたりすることに、全教職員で取り組んでまいります。

夏休みのひとこま



下谷自治会主催
PTA 共催の夕涼
み会 盆踊り・花火
大会。子どもたちの
笑顔でいっぱい
になりました。ありが
うございました。



子どもたちがよ
りよい環境で
すごせるよう
に、教職員が
掃除をしたり教
室環境を整え
たりしました。



子どもたちにど
んな力をつけた
いのか、そのた
めにどんなてだ
てが必要か、教
職員が語り合
いました。

【お知らせ】横井 莉湖 教諭が産休に入り、夏休み明けから 奥田 恵 教諭が2年3組の担任となりました。国際教室担当として、岩口 裕子 教諭が着任しました。